

実践記録

学校/学年	小学校 / 知的障害児学級（高学年）	
教科等：単元名	人権同和教育：「ふわふわことば」と「ちくちくことば」	
キーワード	情報モラル	
情報モラル指導 モデルカリキュラム表における 目標	分類	☐ 情報社会の倫理 ☒ 法の理解と遵守 ☐ 安全への知恵 ☐ 情報セキュリティ ☐ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	C. 情報社会でのルール、マナーを遵守できる。
	中目標項目番号 中目標項目内容	C 2 - 1 情報の発信や情報をやりとりする場合のルール・マナーを知り、守る。
授業会場	☐ パソコン教室 ☒ 普通教室 ☐ 特別教室〔 〕 ☐ その他〔 〕	
学習の目標	相手の気持ちを思いやる心と言葉を身につけていく。	
使用教材	教材名	（あけぼの 小学生低学年向け）
	製作者	（長野県同和教育推進協議会）
	入手先(URL 等)	なし

○展開案

	学習活動	指導・ 評価
導 入	・ 言われると悲しくなったり、元気がなくなる言葉について考える。 ・ 言われるとうれしくなったり、元気が出る言葉を考える。	・ なかなか言葉が出ない時は、具体的な場面を設定して、児童の言葉を引き出す。
展 開	・ 「ふわふわことば」と「ちくちくことば」を言われている時の気持ちを考える。	言われた時の気持ちや表情に気がつくことができたか。
お わ り	・ これからの友達への関わり方を考える。 ・ 手紙や、メールなどではどんな言葉を使うといいか考える。	・ だれもが自分や友達の笑顔、元気な姿を願っていることを確認する。

○授業の成果

- ・ 「これからの友達への関わり方について」まではおおむねおさえられた。

○指導のポイント、留意点

- ・ まだメールを送受信する発達段階までいっていないが、普段の友達との関わり方と基本的には一緒だという点をおさえた。